

心の居場所

教育支援センター「森田村塾」



学校や家庭などのさまざまな生活環境の中で、成長期に不安を感じて不登校になる子どもが増えている現状があります。香南市には子どもたちの居場所として、教育支援センター「森田村塾」があります。

担当／広報編集委員 島村立法

自立を支えるために

玄関を入ると、施設内は家庭的な雰囲気を感じられる森田村塾。

ここでは、小中学校の不登校の児童・生徒(通学中含む)を対象に、朝9時から午後2時半まで、日々、自主的な学習と社会活動などの支援を行っています。

職員は塾長、支援員、指導員、スクールソーシャルワーカーがいます。子どもの小さな心の変化にも対応し、保護者・学校と学校復帰への話し合いをしています。時には「ここでは甘えていいけど社会はもつと厳しいよ」と強く言うこともあるそうです。

自信をつける活動

森田村塾ではチャイムは鳴りません。朝、自分で学習計画を立てます。教科学習に加え、読書・作品づくり・軽スポーツなどの自主活動や調理実習、野外活動もあります。

大きな行事では、毎年1月に「もりたまつり」を開催してい

ます。日ごろお世話になつている地域の皆さんとのふれあいの場として、子どもたちの成長を感じることができるとのこと。

また、海や川、山など自然の中では、「できない」と思っていたのに「できる喜び」に変わることもあつて、子どもたちの自信につながっているようです。

巣立ち

スクールソーシャルワーカーは「どの子ども内心は、やっぱり『学校へ行きたい』が本心」と、優しく言われます。

森田村塾では、学校の卒業式の数日前に「巣立ち式」をして子どもたちを送り出します。

「卒業後しばらくして、訪ねてきた子どもがすっかり成長して、高校生や社会人になった姿を見かけると嬉しくなります」と塾長が語ってくれました。

先生方の思いは一つ。「学校に



▲もりたまつり



▶野外活動で海へ

戻って一步一步乗り越えて、前に進んでほしい」。この言葉が森田村塾の存在の意味を物語っているのではないだろうか。

■森田村塾は、以前は「森田療法」で知られる森田正馬生家を活用して開設されましたが、建物の老朽化に伴い平成24年に現在の場所に移設されました。塾名はそこに因んでのことです。森田療法を行っている施設ではありません。

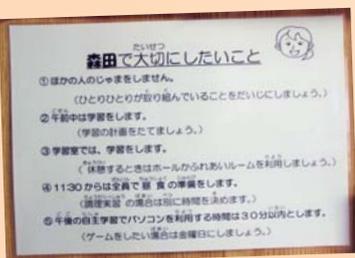
【問い合わせ先】

学校教育課

☎ 57-7521

森田村塾

☎ 54-0110



編集後記

▼今夏、片手で持てるかき水器を購入。料理の盛り付けに使えば涼を楽しめ、シロップをかければ氷のシャリシャリ感が、これまたグー。利用頻度UPで夏やせ失敗(笑)(猪)

▼以前運営に携わせてもらっていたよさこいチームが今年で解散となりました。市のことも連合会の撮影について行ったら偶然出会えた！最後に見れてよかったよ。みんな13年間よくがんばった！おつかれさま！(た)

▼イベントの夏が終わりまりました。今年もたくさん写真を撮りました。ひと息ついたと思ったら次は文化の秋の始まりです。撮影しつつ、意外と季節を感じられます。(T)

▼高校時代の仲良しメンバーとお盆に久々の再会。15歳で出会って早〇〇年、全員の名字も変わりアフォに(笑)。近況や昔話に盛り上がり、涙を流すほど笑って話した楽しい時間でした。友達っていいな(あ)



本報 | 広報紙
スマホで
広報を見よう
| 広報紙アプリの
ダウンロードは
こちらから



《広報へのメール》

kouhou@city.kochi-konan.lg.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi-konan.lg.jp